



平成30年度新潟市障がい者地域自立支援協議会相談支援連絡会名簿

	所 属	職名・役職	氏 名	備考
相談支援連絡会	新潟県地域生活定着支援センター	センター長	本多 崇人	会長
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副会長
	各班班長	省略(4名)		
相談支援体制強化班	自立支援センターまんにち	主任	関川 敦子	班長
	障がい者(児)生活支援センターわあ〜らく	所長	本井 ひろみ	
	地域生活支援センターゆとりあ	相談支援専門員	鈴木 一由	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	斉藤 美澄	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	荒木 澄子	副班長
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	貝沼 静江	
	江南区健康福祉課障がい福祉係	係長	小柳 光明	
権利擁護班	しなのがわ総合法律事務所	弁護士	高橋 直己	班長
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杉山 貴則	副班長
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	山田 恵	
	地域包括支援センター岩室	保健師	近山 理子	
	新潟市障がい者虐待防止センター	虐待防止員	伊藤 裕美	
	新潟市西区健康福祉課障がい福祉係	係長	山田 斉	
地域移行・定着班	新潟信愛病院	精神保健福祉士	永峯 靖央	班長
	白根緑ヶ丘病院	精神保健福祉士	寺尾 真二	
	南浜病院	看護師	和気 一弘	
	地域生活支援センターふらっと	施設長	二宮 寛	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	志賀 あずさ	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	丸山 幸代	副班長
	新潟市こころの健康センター	精神保健福祉相談員	富樫 悠	副班長
	新潟市北区健康福祉課障がい福祉係	副主査	樺沢 万葉	
療育等支援班	子育てなんでも相談センターきらきら	コーディネータ	川村 雅子	
	新潟市発達障がい支援センターJOIN(ジョイン)	相談員	高橋 純子	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川村 優子	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杵鞭 彩香	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	伊藤 祐香	班長
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	大橋 祥子	副班長
	新潟市児童発達支援センターこころん	主査	松浦 純也	
	新潟市東区健康福祉課地域保健福祉担当	副主査	羽田 綾野	
	新潟市障がい福祉課介護給付係	副主査	工藤 朋大	

※H30.8.7時点

※今後変更が生じる場合があります。

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

相談支援体制強化班

課 題	特定相談支援事業所(計画相談支援)の整備											
活動目標	身近な地域で相談でき、課題解決できる地域の体制整備を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				制相 調談 査支 援事 業所 体	ス材相報法 育談酬人 成支改向 〜援定け ガ体・説 イ制新明 ダ(新潟 ン人市		制相 調談 査支 援事 業所 体			と制相 め調談 査支 援事 業所 体		
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
								法人 向け 説明 会				ブ暮 ツら クし のル 活の 用ル 講ー 座ル
	<p>●法人向け研修(11月26日開催)(参加者54人 途中退席9人) (内容) 報酬改定について説明…障がい福祉課より 報酬、加算、人材育成、一般相談支援の充実とやりがいについてパネルディスカッション コーディネーター：地域生活支援部みんなでいきる 相談支援センター センター長 江部 健幸 氏 パネリスト：自立支援センターまんにち：相談支援専門員 関川 敦子 氏 障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく：相談支援専門員 本井 ひろみ 氏 地域生活支援センターゆとりあ：相談支援専門員 鈴木 一由 氏</p> <p>(結果) ・相談支援事業所を持つメリット①地域連携の核となる存在、②新鮮な情報を法人に運んでくる、③実践的な人材育成の場等、経営だけでない部分を伝えた。 ・反応としては、官民一体で行ったことの評価や報酬・やりがいについて参考となったと意見を頂いた。一方、経営の赤字を問題視し、相談員の増員や相談支援事業所の開設は難しい声も頂いた。</p>											
	<p>●暮らしのルールブック活用講座 障がい当事者の学ぶ場が無くトラブルや犯罪に至るケースが多い課題がある。 当事者の学ぶ場を身近な地域で広げることを目標として3月4日に研修を開催した。</p>											
<p>●相談支援事業所体制調査の実施 障がい福祉課がとりまとめを行った。</p>												
班員	自立支援センターまんにち 関川 敦子、障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく 本井 ひろみ、 地域生活支援センターゆとりあ 鈴木 一由、基幹C東 斉藤 美澄、基幹C秋葉 荒木 澄子、基幹C西 貝沼 静江、 江南区健康福祉課障がい福祉係 小柳 光明											

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

相談支援体制強化班

課 題	人材育成(新潟市人材育成ビジョン：図の作成)											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		人材育成(案成ビジョン)		相談支援連絡会で報告				自立支援協議会で報告			班会議	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				現任者向け研修				初任者向け研修				
<p>●新潟市人材育成ビジョン：図の作成 平成30年10月の自立支援協議会全体会や相談支援体制強化班主催の研修で報告。</p> <p>●現任者向け研修(前期7月13日開催、後期10月12日開催)(参加者前期14名、後期9名) (内容) ・指定基準の確認と報酬改定説明・・・障がい福祉課より ・ファシリテーションの講義と実践 (結果) ・指定基準を市より相談支援専門員に伝えられた。 ・講義で学んだことを初心者とのグループワークで実践でき、初任者の感想から和やかな雰囲気作りをしていたことが多くあげられた。</p> <p>●初任者向け研修(10月12日開催)(参加者28名) (内容) ・指定基準の確認と報酬改定説明・・・障がい福祉課より ・「担当者会議のコツ」についてグループワーク (結果) ・指定基準を市より相談支援専門員に伝えられた。相談支援専門員を始めてから早いうちに伝えられることで基準に沿った支援につながることを期待できた。 ・業務の実際をしりたいや、研修の機会を求めていることがわかった。</p>												
班員	自立支援センターまんにち 関川 敦子、障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく 本井 ひろみ、 地域生活支援センターゆとりあ 鈴木 一由、基幹C東 斉藤 美澄、基幹C秋葉 荒木 澄子、基幹C西 貝沼 静江、 江南区健康福祉課障がい福祉係 小柳 光明											

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

相談支援体制強化班

課 題	人材育成(基幹研修会)											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				班 相 研 談 修 支 援 体 制 強 化		権 利 擁 護 班 研 修		研 地 修 域 移 行 ・ 定 着 班		療 育 等 支 援 班 研 修		
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						療 育 等 支 援 班 研 修	研 地 修 域 移 行 ・ 定 着 班	権 利 擁 護 班 研 修	班 相 研 談 修 支 援 体 制 強 化			
	<p>開催回数:年4回          参加者:基幹相談支援センター相談員、障がい福祉課 内容:相談支援連絡会の各班より研修を企画・実施した。          結果:基幹や自立支援協議会の中で行われている現状を確認し合い気付きを多く得られた。</p>											
班員	-											

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

権利擁護班

課題	新潟市における障がい者虐待対応の現状を確認し、課題を整理し、今年度内で出来るシステム改善を目指す。											
活動目標	新潟市全区で、漏れなく粛々と障がい者虐待防止法に則った必要な対応が出来る様に、同じ新潟市の高齢者虐待対応状況を参考に、現行システム(フロー・手順)を検証し、改善提案を行う											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			6/13 班立 上げに 向けた 準備 会議	⇒虐待対応 フロー再確 認、コアメン バー会議のあ り方検討。 ・虐待防止 ネットワーク会 議の設置の 是非⇒次回 までに確認 ⇒高齢者虐 待対応につい ての各区のし くみを確認。 障がい者虐 待対応各区 実態を基幹 Cが情報収 集。	8/29 第1回 会議			11/2 8第2 回会 議			2/27 第3回 会議	
活動実績	<p>1 8区の虐待対応職員アンケートを通じ市(区)障がい者虐待対応の現状と課題を整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応が区によってばらつきがある・対応スキームの中に専門職の関与がなく一般行政の方がおそるおそる対応されている。</li> <li>・チーム対応が定着していない</li> </ul> <p>2 市高齢者虐待対応スキームとの比較を通じ、改善ポイントを明確化した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の抱え込みをせず、必要な関係機関に共有し、必ず複数・チームで考え、対応する</li> <li>・様式を通じて忙しさに流されて見守りにならない様に、いつまでに何をするか明確に</li> <li>・繰り返し様式を繰り返し使う事で到達段階を可視化・明確化する</li> <li>・虐待対応個別ケース会議の構成員に基幹センター(係りのある事案)を明記し、民間ソーシャルワーカーの視点を流れの中に入れていく。</li> <li>・法的ソーシャルワーカー(弁護士)を使える制度をフル活用する。</li> </ul> <p>3 現行の障がい者虐待フロー・様式の見直しを行い、必要な改訂を市に提案した</p> <p>4 3/4障がい者虐待防止情報交換会において、改訂案をお披露目し、全市的啓発の一步に《来年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の改訂対応マニュアルと使い方の要諦を啓発していく</li> <li>・相談支援体制強化班のセルフアドボカシー支援の課題を引継ぎ対応していく</li> </ul>											
班員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班長：高橋 直己（しなのがわ総合法律事務所）</li> <li>・副班長：杉山 貴則（基幹秋葉）</li> <li>・近山 理子（地域包括支援センター岩室）</li> <li>・伊藤 裕美（市虐待防止専門員）</li> <li>・山田 斉（西区）</li> <li>・山田 恵（基幹中央）</li> <li>・竹田 一光（基幹西）</li> </ul>											

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

地域移行・定着班

課題	病院に掲示されている地域移行のポスターが古い 各病院が地域移行についてどのような考えをもっているのかわからない											
活動目標	今年度中に、ポスターをリニューアルする（原案だけでも作りたい） アンケートを通して病院訪問を行なう（病院側のニーズ調査） →次年度以降定期的な連絡会を開催できたら良い											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				班 第1回 議 開 催					アンケート・ポスター12月まで		1月以降 アンケートを元に病院まわり	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				班 第1回 議 開 催		班 第2回 議 開 催		指 定 一 情 報 交 換 事 業 所			班 第3回 議 開 催	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターは最終調整中。印刷業者に依頼済み。ポスターに併せて、支援者向け、当事者向けリーフレットも作成した。</li> <li>・アンケートは内容を最終確認中。</li> <li>・指定一般事業所に集ってもらい、地域移行・地域定着支援事業について情報交換を行なった（内容をアンケート項目に反映）。</li> </ul> ※ポスターを持参しての病院まわりは、次年度上半期に行なう予定。											
班員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟信愛病院：永峯 ・訪問看護ステーションめぐみ：和気 ・白根緑ヶ丘病院：寺尾</li> <li>・ふらっと：二宮 ・北区健康福祉課：樺沢 ・こころの健康センター：富樫 ・基幹西：丸山 ・基幹中央：志賀</li> </ul>											

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

療育等支援班

課 題	①重症心身障がい児や医療ケアが必要な障がい児者のより身近な地域で利用できる福祉サービスの充実について											
活動目標	重症心身障がい児や医療ケアが必要な障がい児者の現状が多くの人に共有できる											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						第1回 9/26				第2回 1/9		
							全体会 で報告	社会資源マップ作り 人数調査 卒業後の進路調査		まとめ		全体会 で報告
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						第1回 9/26				第2回 1/9		
							全体会 で報告	社会資源マップ作り 人数調査 卒業後の進路調査		まとめ		全体会 で報告
	<p>社会資源マップ作成・卒業後の進路調査の結果</p> <p>①対象者を重症心身障がい者としている事業所5箇所だけでなく、身体障がい者を対象としている生活介護事業所（基準該当事業所を含む）でも利用を受け入れている現状がある。秋葉区・南区・西蒲区では受入れ可能な事業所が少ない。 →来年度、重症心身障がい者を受入れできる生活介護事業所の定員増加・送迎範囲拡大、基準該当生活介護事業所の増加を目指す取り組みを行う予定。</p> <p>②医療ケアが必要な方については、福祉サービスによる受け入れ状況が大変厳しい状況である。 →継続検討。</p>											
班員	すてっぷさぼーと 野崎氏・大野氏・トゥインクル 古川氏・コスモス 小畑氏・西新潟中央病院 療育指導室 稲澤氏・ 県立東新潟特別支援学校 大森氏・駒野氏・はまぐみ特別支援学校 井口氏・基幹相談支援センター 大橋・川 村・杵鞭・伊藤 障がい福祉係 杉本係長・工藤氏（重症心身障がい支援ネットワークにいた）											

平成30年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

療育等支援班

課 題	②新潟市の療育等支援事業のあり方について											
活動目標	各区の療育支援の地域診断をする											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1回	第2回	第3回				第4回	第5回	第6回	
				地域診断 共通シ ト作り・依頼先選定		地域診断調査実施 10月：全体会で報告			回収 まとめ	現状と課題の整理 活動計画の作成		全体会 で報告
				研修内容検討		研修→来年度開催に予定を変更（内容未定）						
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1回 6/12	第2回 7/24	第3回 8/22				第4回 12/27	第5回 1/22	第6回 2/13	第7回 3/8
				地域診断 共通シ ト作り・依頼先選定		地域診断調査実施 10月：全体会で報告			回収 まとめ	現状と課題の整理 活動計画の作成		全体会 で報告
	地域診断：就学前までの子ども（特に発達障がい児・知的障がい児）における療育支援体制を調査 【結果】 ① 社会資源はあるが、点在しておりネットワークがない。 ② こころんの役割・機能が周知されていない現状がある。 ③ 児童発達支援事業所の質の向上に向けた取り組みが必要。 →来年度ネットワーク強化等、今ある資源をより活用できるような働きかけを行う予定。											
班員	JOIN 高橋氏・きらきら 川村氏・こころん 松浦氏・東区役所健康福祉課 羽田氏・障がい福祉課 杉本氏 工藤氏・ 基幹相談支援センター 大橋・川村・杵鞭・伊藤											